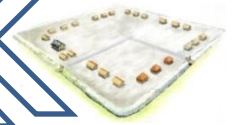




恒川 NEWS



奈良・平安時代の整地面を発見…？

2月から始まった93次調査ですが、早くも5ヶ月目を迎えました。気候が夏に向かってだんだんと近づいていることを感じる日々です。

最近の調査成果では、奈良・平安時代の整地面であろうと考えられる土を土層の断面でとらえることができました。現在、この整地面が調査範囲の全体に及ぶものであるのか、または、一部のみ在り、建物建設部分だけに及ぶものであるのかを検討しています。



まとめて出土した炭化米



炭化米のアップ（米粒が確認される）



炭化米と整地の関係について

現場では少し前からポツポツと炭化米が出土しています。現在整地層であろうと考えている層からはもちろん、その上の層からもわずかに出土しています。なぜこんなに焼け焦げたお米が土の中から出土するのでしょうか。

炭化米が出土するということは、^{しょうそう}正倉が火事にあつたことの証拠になります。正倉は税として取り立てた米や、備蓄食糧としての米を保管するための施設でした。その正倉が火事にあつてももちろん中の米が焼け焦げ、それが炭化米となります。そして、火事にあつた後はその場所をきれいに清掃し、土地を均して整地したあと、また同じ場所に新たな正倉を建設していました。つまり、清掃の際に取り残された炭化米が土に混ざって、今回のように出土するということになります。

この恒川^{かんが}官衙遺跡では炭化米の出土範囲が広く確認されているため、まとめて廃棄したりせずそのまま土地を均して整地したと考えられています。

現地説明開催中！！

～恒川官衙遺跡の発掘現場では毎日現地説明を行っています～

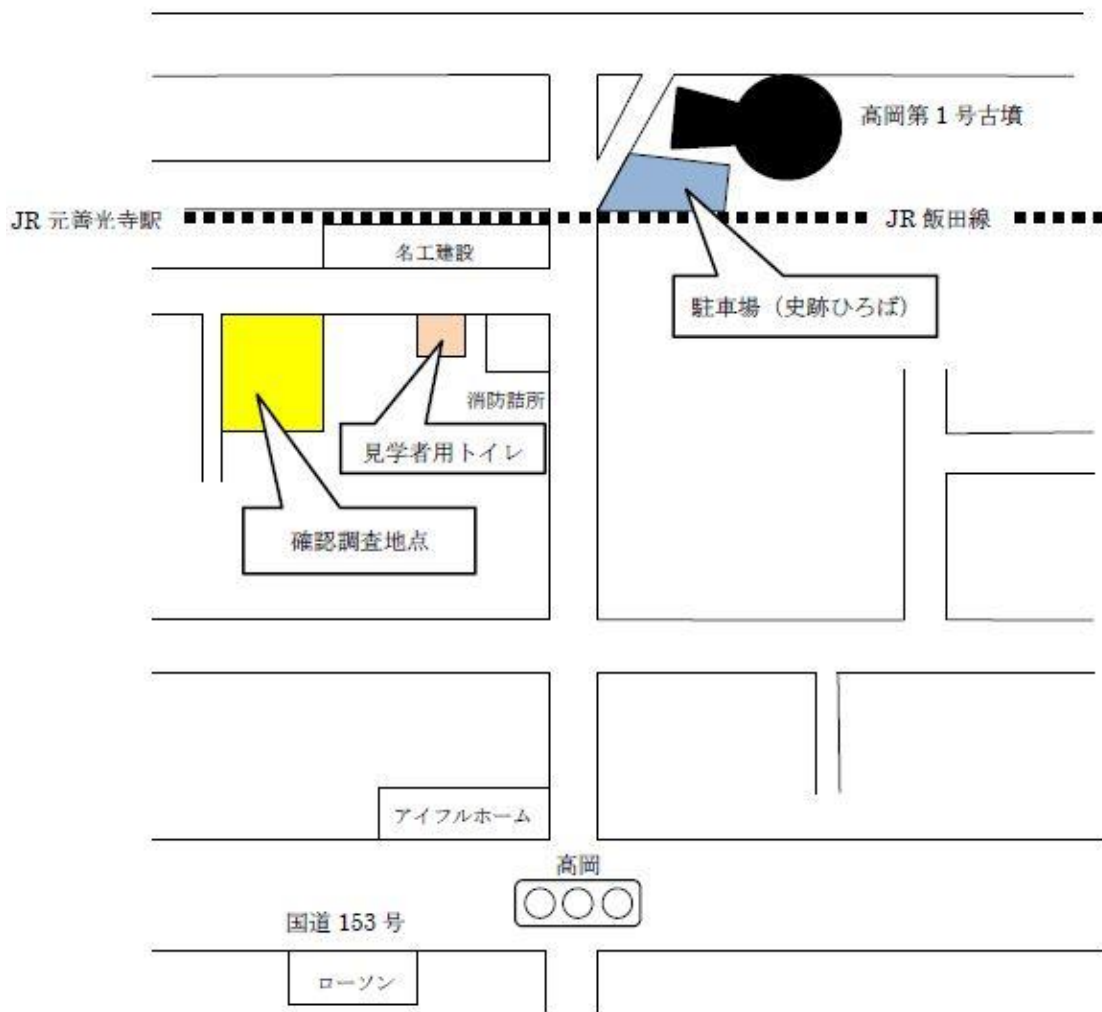
日にち：月～金曜日の間（随時）

時間：10時～15時の間（随時）

休み：土日祝日は終日休みになります。

※誠に勝手ながら調査の都合やお休みにより、不定期に現地説明が行えない場合がありますが、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。



発掘調査を行うにあたり、近隣の皆様には
ご不便およびご迷惑をおかけいたします
が、引き続き何卒ご理解とご協力を頂きま
すよう、よろしくお願いいたします。

史跡恒川官衙遺跡調査速報2（通算No.2）

平成29年6月22日発行

発掘担当者：坂井勇雄・福井優希

飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課
文化財活用係

TEL：0265-22-4511（内線：3752）

FAX：0265-22-7969